

平成 31 年度～平成 33 年度

名鉄広見線 活性化計画



平成 3 1 年 3 月

名鉄広見線活性化協議会

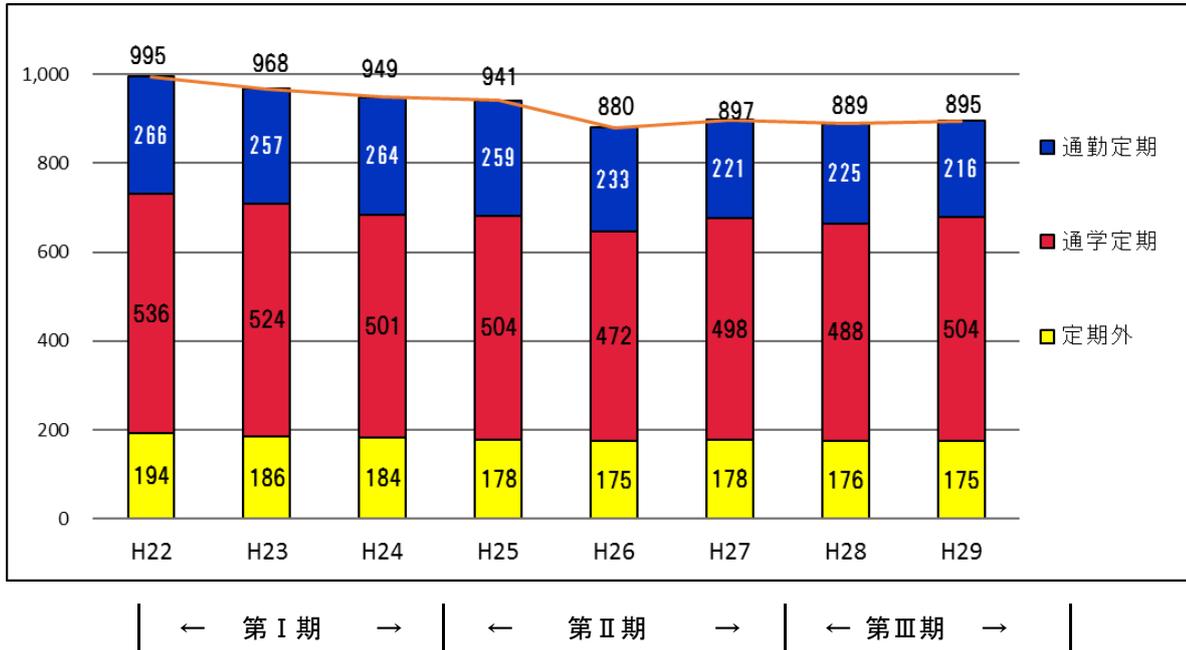
目 次

1. 名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）の現状	1
1) 名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）の利用者推移等	
2) 名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）の概要等	
2. 名鉄広見線活性化計画	
（平成 28 年度～平成 30 年度）活動の振り返り	2
1) 目指す姿	
2) 平成 28 年度から平成 30 年度までの役割分担と推進体制	
3) 事業計画施策一覧	
4) 目標値とその達成状況	
3. 名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）を取り巻く状況	6
1) 人口の推移	
2) 地域公共交通網形成計画の策定と推進	
3) 来訪者の状況	
4) 観光・交流資源の活用	
4. 平成 31 年度以降の活性化計画	8
1) 目指す姿	
2) 活性化計画の期間	
3) 活性化計画の目標	
4) 目標を達成するための推進体制	
5. 実施計画	11
1) 事業計画一覧	
2) 個別事業計画	

1. 名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）の現状

出典：名古屋鉄道株式会社

1) 名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）の利用者推移等



* 第1期当初の平成22年の年間利用者数は995千人でしたが、第2期中間の平成26年度の880千人となって以降、年間利用者数は下げ止まり感で推移しています。平成29年度の年間利用者数は895千人あるものの上向き傾向には至っておらず依然と厳しい状況に変わりありません。

【参考資料】

名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）の輸送密度の推移 *輸送密度：1日1kmあたりの平均輸送量

輸送密度（平成20年度）	2,234 人/日
（平成23年度）	2,065 人/日 （対H20年比 ▲7.6%）
（平成26年度）	1,891 人/日 （対H23年比 ▲8.4%）
（平成29年度）	1,904 人/日 （対H26年比 0.7%）

名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）の経営状況 *営業係数：100円収入を得るのにかった費用

	22年度	23年度	24年度	25年度
経常損益 (旅客運賃収入)	▲182,924千円 (74,165千円)	▲186,840千円 (73,092千円)	▲186,700千円 (73,007千円)	▲193,988千円 (71,582千円)
営業係数	325	334	334	350

	26年度	27年度	28年度	29年度
経常損益 (旅客運賃収入)	▲217,430千円 (68,072千円)	▲220,557千円 (68,620千円)	▲238,659千円 (68,638千円)	▲197,902千円 (68,597千円)
営業係数	393	396	420	365

* 区間収支は平成26年度以降、旅客運賃収入の下げ止まりは見られるものの、経常損失は2億円前後で推移し、それにより営業係数も高い水準で推移しています。

2) 名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）の概要等

(H31.3月現在)

新可児駅 ～ 御嵩駅		
営業キロ	7.4 k m	
駅 数	5 駅	
基本ダイヤ	2 本/時	
運行 本数	日（平日）	80 本（御嵩方面：40 本、新可児方面：40 本）
	ピーク時（7～8 時台）	御嵩方面：7 本 新可児方面：8 本
	日（休日）	72 本（御嵩方面：36 本、新可児方面：36 本）
駅間所要時間 （運賃）		御嵩駅 ⇄ 新可児駅 11 分（300 円）

2. 名鉄広見線活性化計画（平成 28 年度～平成 30 年度）活動の振り返り

1) 目指す姿

名鉄広見線が市・町民にとって必要な社会インフラとして存在し続けること

平成 28 年度に策定した名鉄広見線活性化計画では、関係市町、議会、教育関係者、経済関係者、市・町民が一体となって、活性化に取り組み名鉄広見線及び沿線地域が活性化し、名鉄広見線が市・町民にとって必要な社会インフラとして存在し続けることとして事業計画を推進してきました。

平成 28 年度の計画は第Ⅲ期目であり、第Ⅰ期当初の平成 22 年の年間利用者数は 995 千人でありましたが、第Ⅱ期中間の平成 26 年度の 880 千人となって以降、年間利用者数は下げ止まり感で推移しているものの、区間収支や旅客運賃収入は減少しており依然厳しい状況です。

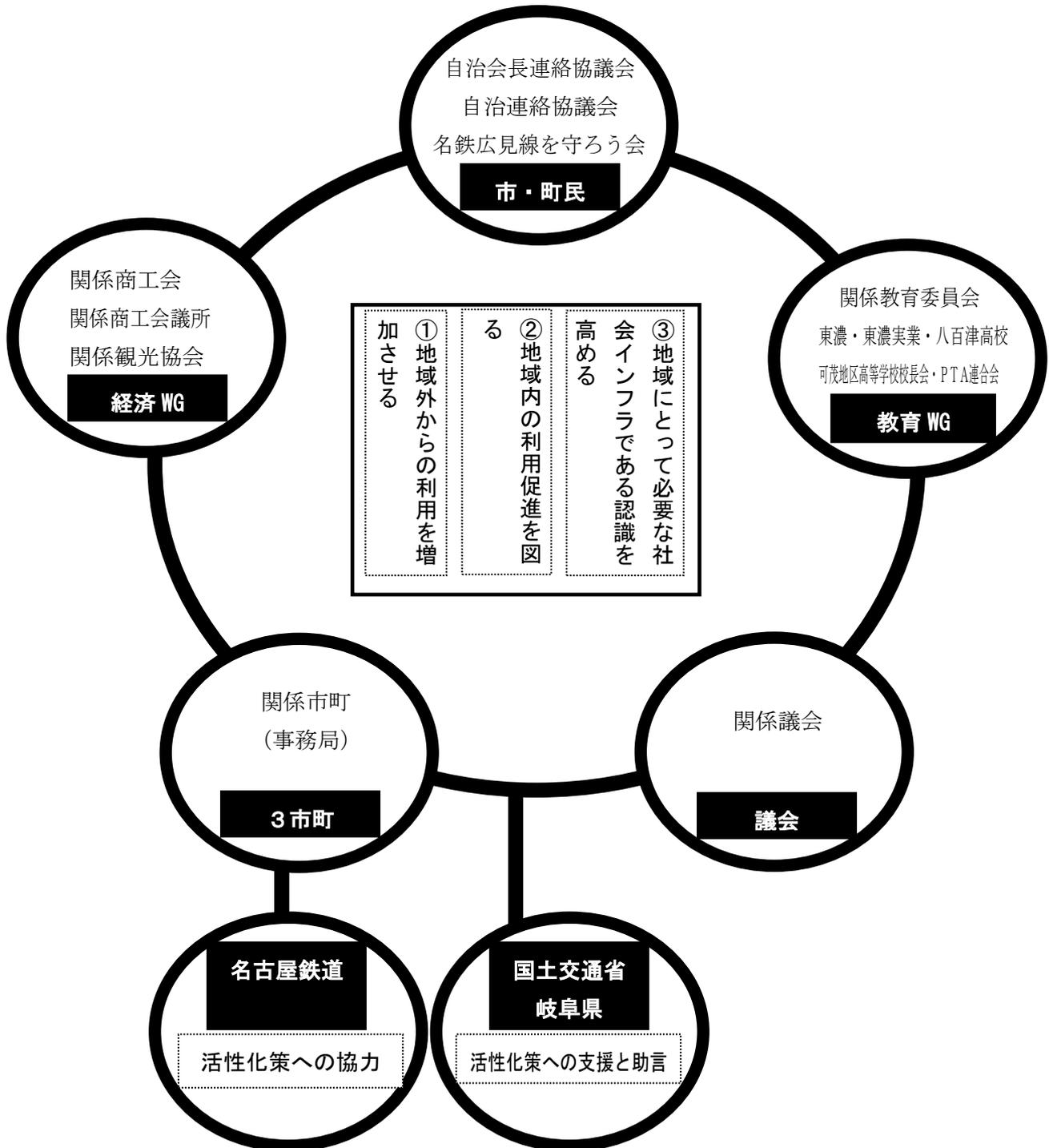
この3年間の計画目標を ①地域外からの利用者を増加させる ②地域内の利用促進を図る ③地域にとって必要な社会インフラである認識を高める として 20 以上の事業を掲げて活性化計画を推進してきました。それにより新たなイベントなどに取り組み、回数券購入や随時利用などにより一定の効果はあったと考えられます。

一方、活性化協議会では利用促進に向けて議論され、それぞれ事業ごとの実施主体を明確化しましたが、関係団体相互間の協力体制は十分活かしきれず、取り組み実施主体者間の連携や一部に偏った状況がみられました。また、住民の交通行動変容を喚起する周知や地域住民を巻き込んだ利用促進運動への展開はあまり見られなかったことが今後の課題として挙げられます。

2) 平成 28 年度から平成 30 年度までの役割分担と推進体制

目指す姿として「関係市町、議会、教育関係者、経済関係者、市・町民が一体となって名鉄広見線の活性化に取り組む」ことを掲げて、それぞれの役割を明確にして推進しました。

	3 市町	議会	教育 関係者	経済 関係者	市・ 町民
①地域外からの利用を増加させる	○	○		○	
②地域内の利用促進を図る	○	○	○	○	○
③地域にとって必要な社会インフラである認識を高める	○	○	○		



3) 事業計画施策一覧

事業を進めていくなかで、毎年度ごとにPlan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Action（改善）を行い施策の見直しを行いました。

No	事業名	※ 施策主要 分類	実施主体						事業年度		
			3 市 町	議 会	教 育	商 工	観 光	住 民	H 2 8	H 2 9	H 3 0
1	名鉄広見線活性化地域連携観光PR事業	①	○	○	-	○	○	-	○	○	○
2	イベント等魅力アップ事業	①	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	地域資源ブラッシュアップ（磨き上げ）事業	①	○	-	○	○	○	-	○	○	○
4	インバウンド対応事業	①	-	-	○	○	-	-	○	○	○
5	地域観光資源等連携観光事業	①	○	○	-	○	○	-	○	○	○
6	電車利用来訪者特典事業	①	○	-	-	○	○	-	○	○	○
7	駅舎等活用事業	①	○	-	-	-	○	-	○	○	○
8	沿線活性化情報発信事業	①	○	-	-	○	○	○	○	○	○
9	活性化協議会イベント事業	①	○	-	-	-	-	-	○	○	○
10	イベント事業補助制度	①	○	-	-	-	-	-	○	○	○
11	高校の魅力向上・地域連携事業	①	-	-	○	-	-	-	○	○	○
12	利用プラスワン運動	②	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	駐車場・駐輪場整備事業	②	○	○	-	○	-	-	○	○	○
-	デュアルシステム・職業体験応援事業	②	○	-	○	○	○	-	○	-	-
14	ノーマイカーデーの実施	②	○	○	○	-	-	-	○	○	○
15	団体利用運賃補助制度	②	○	-	-	-	-	-	○	○	○
16	YAOバス団体利用運賃補助制度	②	○	-	-	-	-	-	○	○	○
17	回数券購入補助制度	②	○	-	-	-	-	-	○	○	○
18	定期券通勤通学者応援制度	②	○	-	-	-	-	-	○	○	○
19	運転免許証自主返納者回数券購入補助制度	②	○	-	-	-	-	-	○	○	○
20	地域の魅力発信などを考える会の開催	③	○	○	○	-	-	-	○	○	○
-	名鉄西尾・蒲郡線交流事業	③	○	-	-	-	-	○	○	○	-
21	楽しい交通環境教育（モビリティ・マネジメント教育）事業	③	-	○	○	-	-	-	○	○	○
-	目標値達成度調査等事業	③	○	-	-	-	-	-	-	○	-

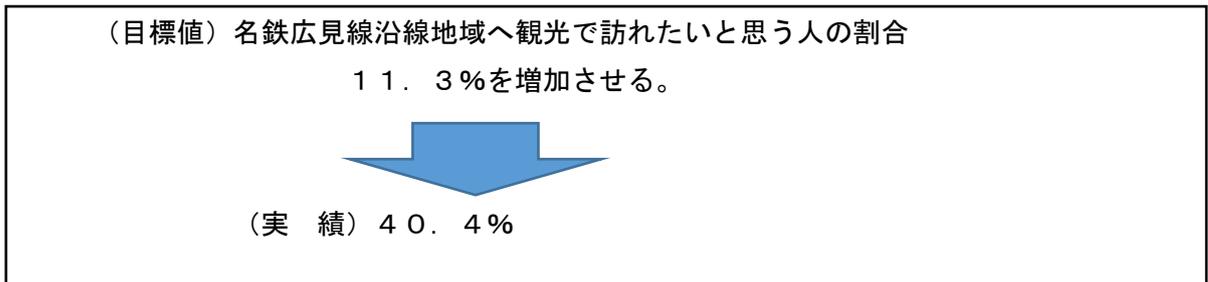
①地域外からの利用を増加させる施策

※ ②地域内の利用促進を図る施策

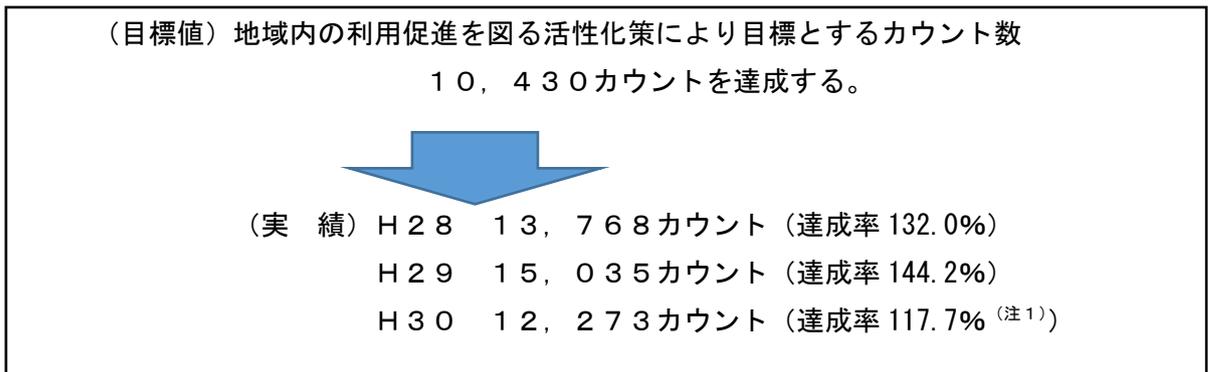
③地域にとって必要な社会インフラである認識を高める施策

4) 目標値とその達成状況

①地域外からの利用を増加させる

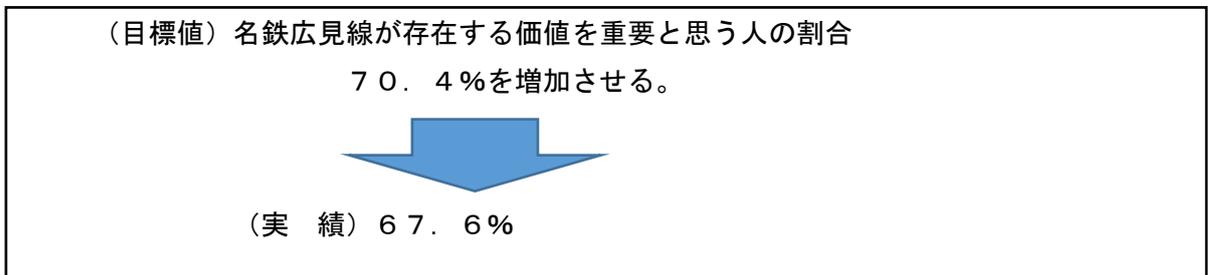


②地域内の利用促進を図る



(注1 : H30の達成率はH31.2月末現在)

③地域にとって必要な社会インフラである認識を高める



※目標値は概ね達成することができました。

※この区間での企画きっぷが初めて発売されたことや、名鉄広見線利用を前提としたモニターツアーを実施したことに伴い、各市町で連携したPR活動を展開するなど、協力して取組みを行うことができました。

※目標を達成するための施策として、定期券利用者(通勤・通学)を増やすための利用促進策など利用者への補助事業など6の施策を実施し、その施策の目標を10,430カウントとして取り組んできました。平成28年度の達成率は132.0%、平成29年度の達成率は144.2%となり、大幅に目標を達成することができました。

※平成29年度に実施した沿線住民アンケート調査の結果では、広見線の運行継続は必要と回答した方が72%、広見線運行の費用負担が必要であると回答した方は94%でした。また、平成29年度の調査結果から、高齢者を始めとする交通弱者の日常生活を守るため、交通手段を確保していかなければいけないこと、高校生の通学手段として広見線が無くなった場合に影響が出ることが分かり、運行継続が必要だという声が増加しました。

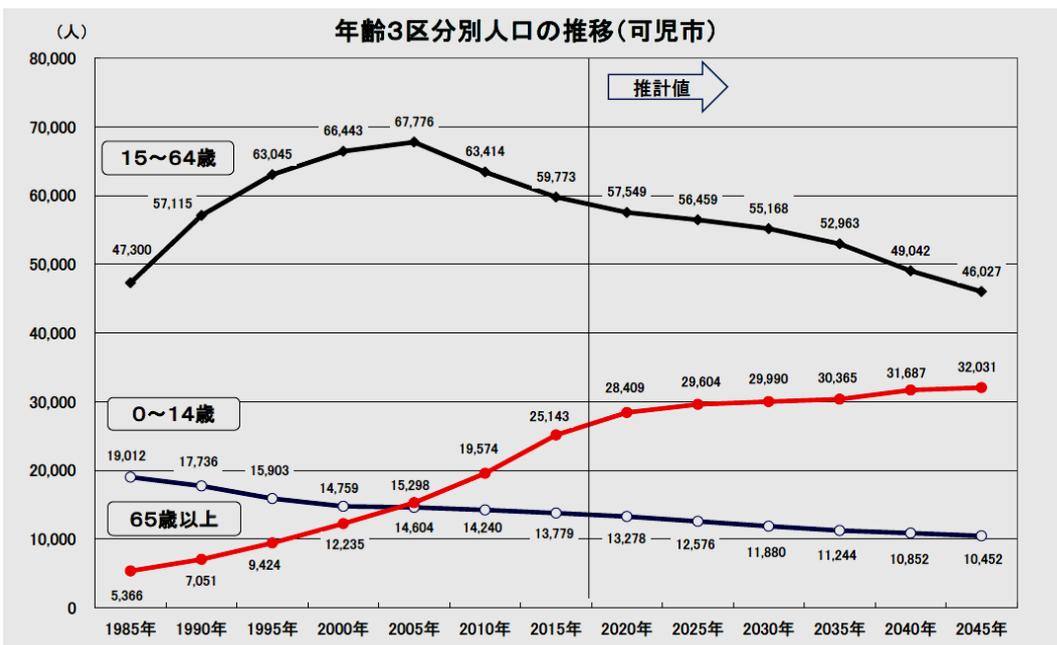
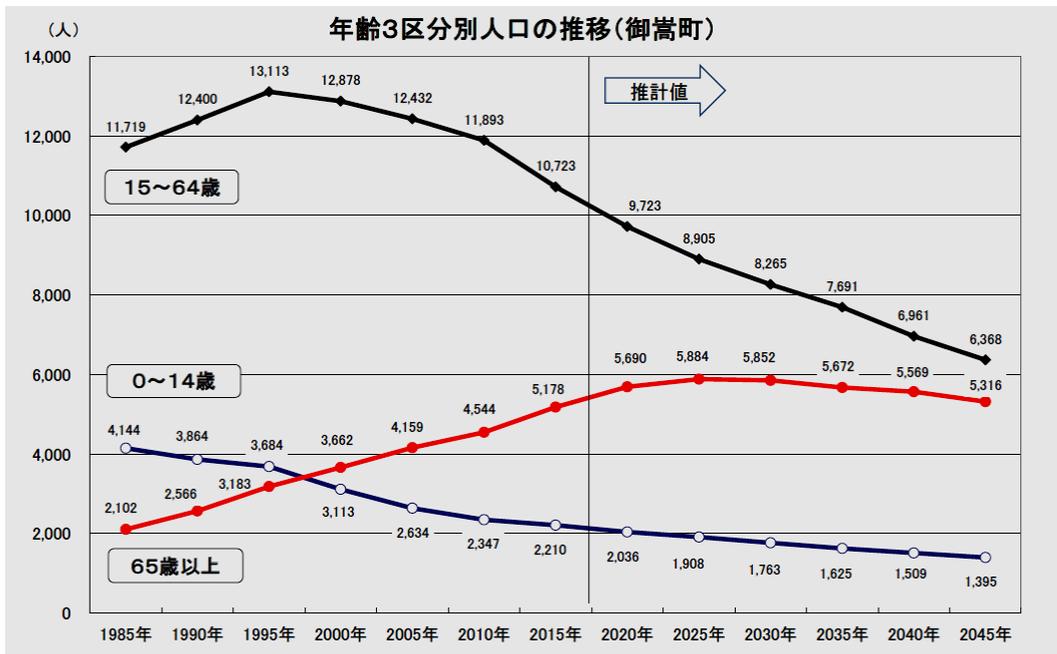
3. 名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）を取り巻く状況

1) 人口の推移

長期的に見て、全体的に人口は減少していく状況にあります。

広見線を定期に利用される見込みがある15～64歳の人口は、2015年の約70,000人（御嵩町10,723人、可児市59,773人）から、2020年は約67,000人（御嵩町9,723人、可児市57,549人）と約3,000人減少するとされ、10年後の2030年には約63,000人（御嵩町8,265人、可児市55,168人）となり、さらに約4,000人減少すると推計されています。

一方で、65歳以上の人口は、増加していく状況にあり、2015年は約30,000人（御嵩町5,178人、可児市25,143人）から、2020年は約34,000人（御嵩町5,690人、可児市28,409人）と、約4,000人増加すると推計されており、ますます交通弱者の「おでかけ」の環境整備が求められていきます。



出典：いずれも「統計からみた岐阜県・市町村の現状」より

2) 地域公共交通網形成計画の策定と推進

近年のモータリゼーションの進展や人口減少、少子高齢化などにより、公共交通の縮小やサービス水準が低下し、更に公共交通利用者が減少する「負のスパイラル」が見られ、この地域においても自立した生活を営む上で必要な「移動・おでかけ」が脅かされつつあります。

そこで、可児市や八百津町では、まちづくりと一体となった持続可能な公共交通（鉄道や路線バス、コミュニティバスなど）ネットワークの形成を推進するための「**地域公共交通網形成計画**」が策定され、ますます名鉄広見線は地域の公共交通の基軸となります。（御嵩町は策定予定）

3) 来訪者の状況

最近のインバウンドや観光ブームもあり、この地域の来訪者は増加傾向にあります。

	H25 年	H29 年
道の駅 可児ッテ	237,473 人	274,164 人
花フェスタ記念公園	316,572 人	368,199 人
みたけの森	38,440 人	28,091 人
鬼岩公園	19,030 人	22,700 人
中山道みたけ館	60,666 人	64,288 人
人道の丘公園	28,463 人	35,002 人

出典：岐阜県観光入込客統計調査

4) 観光・交流資源の活用

★名鉄広見線（新可児駅～御嵩口駅）開通 100 周年

東濃鉄道株式会社（東美鉄道株式会社の前進）が、多治見駅から広見駅間の延長として御嵩口駅まで延長工事を行い、1920 年 8 月 21 日に運転を開始して以降 100 年間もの長い間走り続けています。この 100 周年を機に「開通 100 周年記念プロジェクト」を実施します。映画制作やインスタグラムフォトコンテスト、新キャッチコピー・ロゴマーク募集などを予定しております。

★明智光秀・可児才蔵 戦国武将誘客戦略

2020 年大河ドラマ「麒麟がくる」の放映を絶好の機会として、明智光秀・可児才蔵など戦国武将をほかの地域資源とあわせて名鉄広見線誘客戦略を図るため、大河ドラマに関連した利用促進策として「戦国武将活用事業」を進めます。

ほかにも、「昇龍道プロジェクト」として、中部運輸局や中部北陸 9 県の自治体、観光関係団体、観光事業者等と協働して、海外からのインバウンドを推進していますし、2027 年のリニア中央新幹線開業を見据え、岐阜県と沿線 7 市町の行政、観光協会で構成する「東美濃歴史街道協議会」では、沿線地域の歴史や伝統文化、地場産業等の地域資源を活かした広域観光の取組みを進めています。特に「東美濃の山城」の取組みにおいて、可児市では山城を多くの方が訪れています。また、美濃地方を東西に横断している中山道の土地の歴史や文化、隠れた魅力の発見を楽しむ街道観光「中山道ぎふ 17 宿歩き旅」も行われています。

また、老朽化が進む名鉄御嵩駅前にある国指定重要文化財「願興寺本堂」の解体修理が始まり見学会も予定され、多くの方の来訪が期待できます。

4. 平成 31 年度以降の活性化計画

1) 目指す姿

「いつまでも“おでかけ”ができ、住み続けられ、地域で活発な交流が生まれるための社会インフラとして存在し続けること」

そのために、関係市町、議会、教育関係者、経済関係者、市・町民が一体となって、名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）の活性化に取り組み、名鉄広見線及び沿線地域の活性化を一層推し進める。

2) 活性化計画の期間

活性化計画の期間は、平成 31 年度から平成 33 年度の 3 年間とする。

3) 活性化計画の目標

上記 1) の目指す姿の実現に向けて 3 つの目標を立て、取り組みを実施する。

①地域外からの利用を増加させる。

公共交通と地域の資源を利活用し、誘客のための魅力づくり、イベント開催、PR などをを行い、利用者を増加させ、地域の活性化を図る。

⇒ 目標値：沿線地域の観光施設等の年間利用者数 110 万人以上

*可児ッテ・花フェスタ記念公園・大河ドラマ館・みたけの森・鬼岩公園・中山道みたけ館・人道の丘公園の年間利用者数。次期活性化計画の検討を 2021 年に行うため、2020 年の数値を目標値とする。

②地域内の利用促進を図る。

継続的な利用が見込める地域内利用者に対し、様々な補助を行うことで利用を促進し、各団体においても補助制度の周知等連携して取り組むことで、広見線の活性化を目指すものです。

⇒ 目標値：回数券等のカウント数 12,250 カウント以上

*カウント数・・・利用乗車券数

③地域にとって必要な社会インフラである認識を高める。

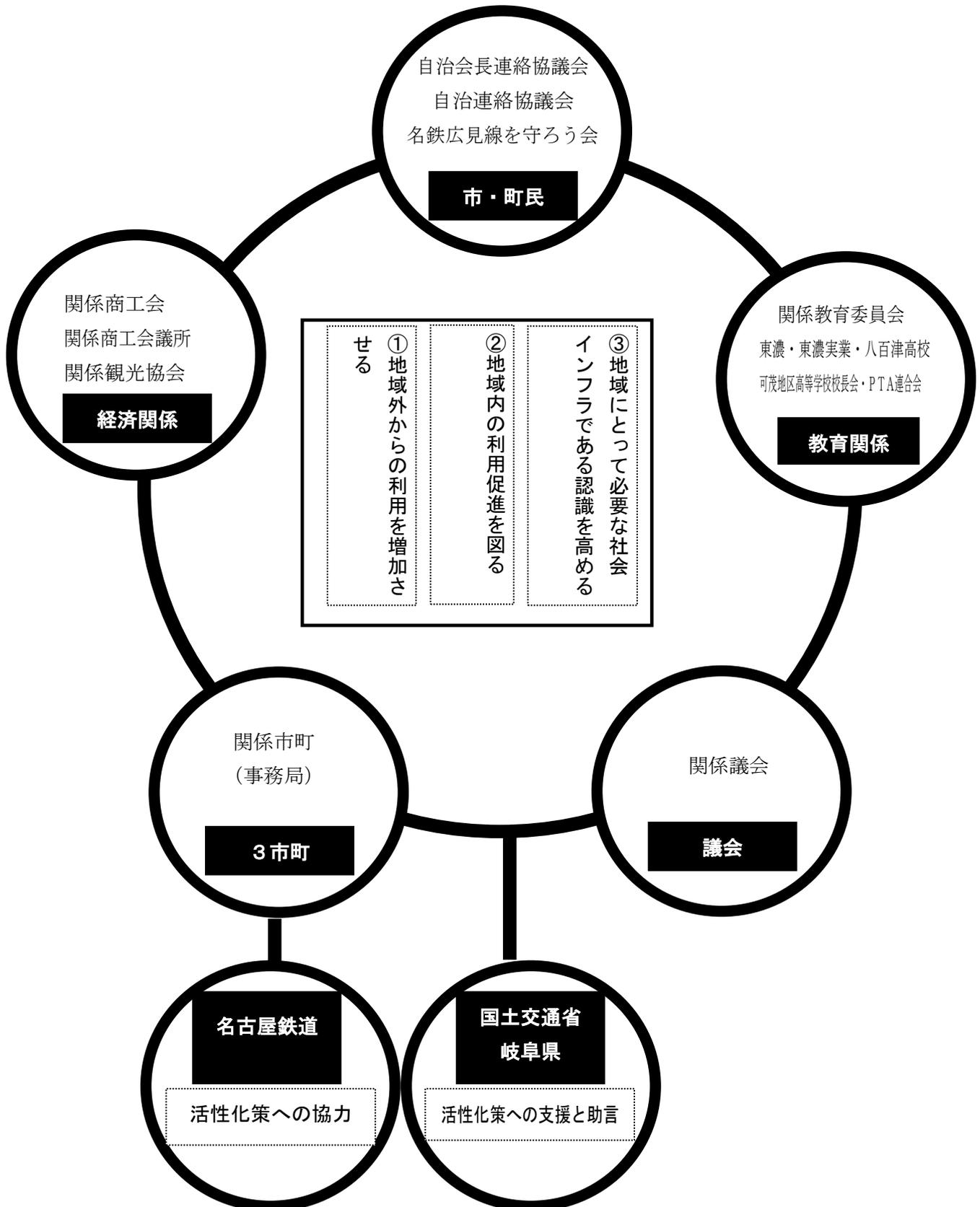
各市町の地域公共交通網形成計画の実施等により、公共交通ネットワークの 1 つである名鉄広見線の利用機会や関心が増え、又は意識啓発活動によって、必要な社会インフラであるという認識が高まる。

⇒ 目標値：名鉄広見線が存在する価値を重要と思う人の割合 70%以上

*名鉄広見線沿線住民アンケート調査

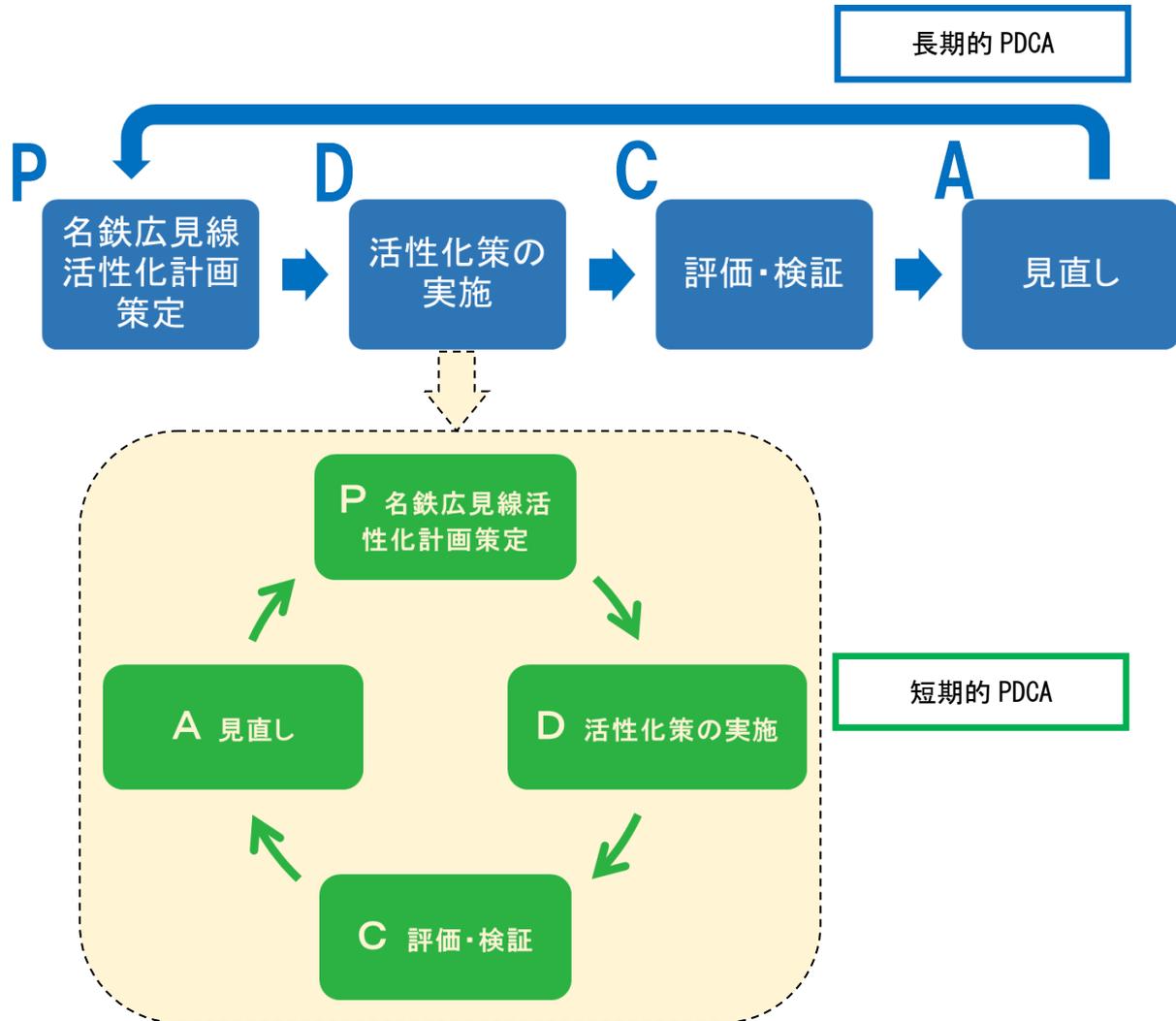
4) 目標を達成するための推進体制

名鉄広見線活性化協議会に参画する各関係者が、一体となり取り組む。



PDCAサイクル

「計画-実行-検証-改善」を行いながら、施策を実施し、計画を必要に応じて見直す。計画期間の3年間のPDCAと、年度毎に活性化策を修正するPDCAを行う。



5. 実施計画

1) 事業計画一覧

各種事業は年度毎にP D C Aを行うことにより見直しを図り、事業計画一覧は毎年度作成する。

No	事業名	※ 施策主要 分類	実施主体						事業年度		
			3 市 町	議 会	教 育	商 工	観 光	住 民	H 3 1	H 3 2	H 3 3
1	名鉄広見線活性化地域連携観光PR事業	①	○	○	-	○	○	-	○	○	○
2	イベント等魅力アップ事業	①	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	地域資源ブラッシュアップ・情報発信事業	①	○	-	○	○	○	○	○	○	○
4	インバウンド対応事業	①	-	-	○	○	○	-	○	○	○
5	地域観光資源等連携観光事業	①	○	-	-	○	○	-	○	○	○
6	戦国武将活用事業	①	○	-	○	○	○	○	○	○	○
7	電車利用来訪者特典事業	①	○	-	-	○	○	○	○	○	○
8	駅舎等活用事業	①	○	-	-	○	○	-	○	○	○
9	地域公共交通情報連携事業	①	○	-	-	-	-	-	○	○	○
10	沿線活性化情報発信事業	①	○	-	-	○	○	○	○	○	○
11	活性化協議会イベント事業	①	○	-	-	-	-	-	○	○	○
12	イベント事業補助制度	①	○	-	○	○	○	○	○	○	○
13	高校の魅力向上・地域連携事業	①	○	-	○	○	○	-	○	○	○
14	利用プラスワン運動	②	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	駐車場・駐輪場整備事業	②	○	-	-	-	-	-	○	○	○
16	ノーマイカーデーの実施	②	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	団体利用運賃補助制度	②	○	-	-	-	-	-	○	○	○
18	YAOバス等団体利用運賃補助制度	②	○	-	-	-	-	-	○	○	○
19	回数券購入補助制度	②	○	-	-	-	-	-	○	○	○
20	定期券通勤通学者応援制度	②	○	-	-	-	-	-	○	○	○
21	運転免許証自主返納者回数券購入補助制度	②	○	-	-	-	-	-	○	○	○
22	地域の魅力発信などを考える会の開催	③	○	-	○	○	○	○	○	○	○
23	楽しい交通環境教育（モビリティ・マネジメント教育）事業	③	○	-	○	-	-	-	○	○	○
24	広見線開通100周年記念事業	③	○	-	○	○	○	○	○	○	○

①地域外からの利用を増加させる

※ ②地域内の利用促進を図る

③地域にとって必要な社会インフラである認識を高める

備考：事業は提案段階のものも含まれており、今後具体化していく過程で、随時変更していくこととする。

2) 個別事業計画

No	1	施策主要分類	①地域外からの利用を増加させる			
事業名	名鉄広見線活性化地域連携観光PR事業					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○	○		○	○	
実施年度	平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<p>名鉄広見線活性化地域（3市町をいう。）外で既存の観光キャンペーン等を活用するとともに活性化地域の観光等のチラシ配布、特産品の物販、企画きっぷのPR活動をおこなう。</p> <p>例：春・秋などの観光シーズン前に金山駅コンコースや名古屋駅などで実施、また、昇龍道プロジェクトを意識して中部国際空港での実施。</p> <p>実施主体単独での実施のほか、3市町行政間、3市町議会間、経済関係者同士の連携も視野に入れて活動する。</p>					

No	2	施策主要分類	①地域外からの利用を増加させる			
事業名	イベント等魅力アップ事業					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○	○	○	○	○	○
実施年度	平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<p>現在行っているイベント等をさらに進化させ、地域外からの利用者の増加につなげるためにこんなことを企画実施したらどうかということをご提案し、実現させる。</p> <p>提案するにあたり、それぞれの団体がどのように関わられるのか、関わっていくことができるのかを検討し、各関係機関と相談したうえで、円滑な実施に結びつける。</p> <p>電車内でファッションショーをするイベント列車を走らせたり、地域の魅力を知ってもらう写真展やスタンプラリーを電車を使って実施したり、観光会社と連携して誘客ルートを構築したりなど。</p>					

No	3	施策主要分類	①地域外からの利用を増加させる			
事業名	地域資源ブラッシュアップ・情報発信事業					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○		○	○	○	○
実施年度	平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<p>3市町の観光資源を増やすため、それぞれの地域資源をブラッシュアップし、情報発信・宣伝強化を図る。</p> <p>可児市：花フェスタ記念公園、国史跡 美濃金山城跡・明智長山城跡・久々利城跡など戦国史跡、美濃桃山陶の聖地、土田御前、サヨリめしなど</p> <p>御嵩町：中山道御嶽宿・伏見宿、願興寺、愚侯寺、みたけの森、蟹薬師祭礼、みたけ華ずしなど</p> <p>八百津町：杉原千畝記念館、五宝滝、旧八百津発電所、八百津だんじり祭、くりきんとんなど</p>					

No	4	施策主要分類	①地域外からの利用を増加させる			
事業名	インバウンド対応事業					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
			○	○	○	
実施年度	平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<p>来訪者に対し地域の魅力を伝えるなどおもてなしができる人材を育成するために、また、海外から特に英語圏からの来訪者に対しておもてなしができる人材を育成するために講座を開催する。さらに、観光用英語表記の仕方やお店の販売用英語表記の仕方などを学ぶ講座などを開催する。</p>					

No	5	施策主要分類	①地域外からの利用を増加させる			
事業名	地域観光資源等連携観光事業					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○			○	○	
実施年度	平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<p>名鉄広見線から、杉原千畝記念館、花フェスタ記念公園、国史跡 美濃金山城跡、御獄宿、鬼岩などの観光資源を周遊できるモデルコースのマップなど情報発信をする。 周遊ツアーの実施や観光会社への提案も行う。</p>					

No	6	施策主要分類	①地域外からの利用を増加させる			
事業名	戦国武将活用事業					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○		○	○	○	○
実施年度	平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<p>NHK大河ドラマ「麒麟がくる」の放送を契機として、沿線地域の魅力を磨き上げる。 大勢の来訪者が集まることが予測され、明智駅や御高駅からのアクセス・案内・おもてなしを行う。 また、駅を基点としたゆかりの戦国武将「企画きっぷ」や「ゆかりの地めぐりツアー」の実施等について検討する。</p>					

No	7	施策主要分類	①地域外からの利用を増加させる			
事業名	電車利用来訪者特典事業					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○			○	○	○
実施年度	平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<p>電車利用来訪者に対して、おもてなし特典を付けるなどして、名鉄広見線利用による来訪を呼び掛ける。また、イベント等の案内には、名鉄広見線利用によるアクセスを最優先に掲載する。</p> <p>例：イベント実施時には、電車に来ていただいた方に買物券を配布する。</p> <p>沿線活性化情報発信事業（No9）で発行した雑誌等には、割引店舗を掲載する。</p>					

No	8	施策主要分類	①地域外からの利用を増加させる			
事業名	駅舎等活用事業					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○			○	○	
実施年度	平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<p>御高駅観光案内所にて特産品販売を行ったり、新可児駅前の可児市子育て健康プラザmano（マーノ）と連携を図っていくなど、駅舎および駅周辺施設を活用し、賑わいを創出する。</p> <p>また、駅での貸出レンタル自転車を利用してもらい、名鉄広見線利用観光客に向けてPRを行い、駅を拠点とした観光に活用していく。</p>					

No	9	施策主要分類	①地域外からの利用を増加させる			
事業名	地域公共交通情報連携事業					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○					
実施年度	平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<p>3市町のコミュニティバスとYAOバスのバス情報のオープンデータ化^(※)を進め、名鉄広見線と各バスとの乗り換え案内の精度を高めることにより、地域外から来訪する利用者への利便性向上と利用増を図る。</p> <p>※バスの時刻表等のデータを、国土交通省の定める「標準的なバス情報フォーマット」の形式で公開すること。これにより経路検索事業者へのデータ提供が容易になる。</p>					

No	10	施策主要分類	①地域外からの利用を増加させる			
事業名	沿線活性化情報発信事業					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○			○	○	○
実施年度	平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<p>地域向けには、名鉄広見線活性化協議会の活動や、利用実績などの報告を中心に情報発信していく。広域向けには個別チラシ以外の媒体（フリーペーパー、観光情報雑誌（るるぶ等）、名鉄windなど）で、沿線イベント情報を中心に発行する。</p> <p>その他、ホームページ、SNS、ポスター、チラシ、ウォーキングマップ、幟旗などのツールを使って情報発信・啓発活動を実施する。</p>					

No	11	施策主要分類	①地域外からの利用を増加させる			
事業名	活性化協議会イベント事業					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○					
実施年度	平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<p>イベント事業により、名鉄広見線の乗車、PRを行う。</p> <p>赤い電車応援ポスター展やカレー太郎電鉄のような駅と周辺商店・民家と連携したイベント実施のほか、イベント事業補助制度（No11）を活用している団体との共催などを検討する。</p>					

No	12	施策主要分類	①地域外からの利用を増加させる			
事業名	イベント事業補助制度					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○		○	○	○	○
実施年度	平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<p>名鉄広見線の利用につながるものや利用を呼びかけるもの、または、名鉄広見線を題材としたイベントを補助する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生を主体とする場合：補助率10分の10（限度額10万円） ・学校教育関係の組織を主体（高校を除く）とする場合：補助率4分の3（限度額9万円） ・経済団体、住民団体等を主体とする場合：補助率3分の2（限度額6万円） <p>目標とする利用者数目安 1,000名/年/年度</p>					

No	13	施策主要分類	①地域外からの利用を増加させる			
事業名	高校の魅力向上・地域連携事業					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○		○	○	○	
実施年度	平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<p>学校の魅力と地域とのつながりを向上するため、高校の取り組みや魅力さらに部活動の成果などを積極的に地域へ発信するとともに、地域のイベントに参加したり、ボランティアとして協力する。駅近くの公共施設を活用して高校の活動をPRする。</p>					

No	14	施策主要分類	②地域内の利用促進を図る			
事業名	利用プラスワン運動					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○	○	○	○	○	○
実施年度	平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<p>前年度より1回でも多く名鉄広見線を利用する運動を展開する。 前年度名鉄広見線を利用した人は、前年度の回数より1回でも多く利用する。 前年度名鉄広見線を利用した回数が0回の人、1回は利用する。 ・既存の行事、イベント、取り組みに、名鉄広見線の乗車をする内容を入れたり、増やす。 例) 地域の遠足や学習、おでかけに、乗車体験や経路に名鉄広見線を入れる。</p>					

No	15	施策主要分類	②地域内の利用促進を図る			
事業名	駐車場・駐輪場整備事業					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○					
実施年度	平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<p>御嵩駅又は新可児駅には市又は町による駐車場や駐輪場が整備されているが、それ以外の御嵩口駅、顔戸駅、明智駅には整備されていないため、通勤・通学定期利用者のため、また、駅までのパーク&ライドをより強力で推進していくため駐車場や駐輪場の整備を検討する。</p>					

No	16	施策主要分類	②地域内の利用促進を図る			
事業名	ノーマイカーデーの実施					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○	○	○	○	○	○
実施年度	平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<p>3市町の職員又は教職員は、これまでどおり月に1回はノーマイカーデーを実施する。 議会は、公務で来庁する場合にノーマイカーデーを実施する。 高校生で親の送迎により通学している生徒や雨の日に送迎してもらう人は、月に1回はノーマイカーデーを実施する。</p>					

No	17	施策主要分類	②地域内の利用促進を図る			
事業名	団体利用運賃補助制度					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○					
実施年度	平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・5名以上を団体とし、広見線を利用された団体に利用運賃の一部を補助する（一般団体、学生団体等） ・補助対象区間は西可児駅～御高駅間を含む区間 ・補助率は補助対象区間運賃の2分の1 <p>目標とする利用者数目安 4,000カット／年度</p>					

No	18	施策主要分類	②地域内の利用促進を図る			
事業名	YAOバス等団体利用運賃補助制度					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○					
実施年度	平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<p>名鉄広見線を利用する5名以上の団体で、YAOバス利用運賃の一部を補助する。 （一般団体、学生団体等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助対象区間は明智駅～八百津町FC間 ・補助率は補助対象区間運賃の30% <p>目標とする利用者数目安 200カット／年度</p> <p>上記のほか、2次交通（コミバス等）との乗換補助も検討する。</p>					

No	19	施策主要分類	②地域内の利用促進を図る			
事業名	回数券購入補助制度					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○					
実施年度	平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・名鉄広見線を含む回数券を購入した費用の一部を補助する ・補助対象区間は新可児駅～御嵩駅間を含む区間 ・対象となる券：通学用割引回数券、身体障害者割引回数券、知的障害者割引回数券、広見線回数きっぷ10 ・補助率は回数券購入費用の2分の1 目標とする利用者数目安 7,000カット/年度					

No	20	施策主要分類	②地域内の利用促進を図る			
事業名	定期券通勤通学者応援制度					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○					
実施年度	平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤・通学定期の継続を促進するため同定期を購入し通勤・通学している者に商品券を進呈する ・補助対象区間は新可児駅～御嵩駅間を含む区間 ・商品券額面は定期券利用月数による 通勤：1か月ー円分、3か月500円分、6か月1,000円分 通学：1か月500円分、3か月1000円分、6か月2,000円分					

No	21	施策主要分類	②地域内の利用促進を図る			
事業名	運転免許証自主返納者回数券購入補助制度					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○					
実施年度	平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	○		○		○	
取り組み内容	高齢等の理由により運転免許証を自主的に返納された人が回数券を購入した場合に購入費用の一部を補助する <ul style="list-style-type: none"> ・補助対象区間は新可児駅～御嵩駅間を含む区間 ・返納から1年以内の購入について1回申請限り、3組（1組10枚）以内、補助率10/10 目標とする利用者数目安 50カット/年度					

No	22	施策主要分類	③地域にとって必要な社会インフラである認識を高める			
事業名	地域の魅力発信などを考える会の開催					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○		○	○	○	○
実施年度	平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<p>3市町の活性化を図るため、利用促進大会等を開催し、地域全体の魅力を向上させる方策や名鉄広見線に関する事など、地域を盛り上げるについて語り合う。</p> <p>電車を利用した遠足などテーマを決めて、沿線の住民や高校生とその保護者または高齢者などの多くの方に参加してもらおうワークショップを行う。</p> <p>地域の課題として「名鉄広見線の活性化」を題材として地域課題解決型キャリア教育を行う。</p>					

No	23	施策主要分類	③地域にとって必要な社会インフラである認識を高める			
事業名	楽しい交通環境教育（モビリティ・マネジメント教育）事業					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○		○			
実施年度	平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<p>学校の学習にて、自分たちの移動手段を「人や社会、環境にやさしい」という観点から見直し、改善していくために自発的な行動を取れるような人間を育成することを目指した交通環境教育を実施する。</p> <p>名鉄広見線とバスとの乗り換え乗車体験イベント等を実施する。鉄道の魅力、乗り方、マナーを教育する。</p>					

No	24	施策主要分類	③地域にとって必要な社会インフラである認識を高める			
事業名	名鉄広見線開通100周年記念事業					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○		○	○	○	○
実施年度	平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<p>1920年8月21日新可児駅（旧広見駅）と御高口駅（旧御高駅）間で運転を開始し、2020年8月に名鉄広見線（新可児駅～御高口駅）が開通100周年となる。</p> <p>このことを記念した「開通100周年記念プロジェクト」を実施し、「名鉄広見線」を見て・魅せて・知って、利用につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「100年先に残る作品」を合言葉に住民有志による映画の制作及び上映を実施する。 ・インスタグラムフォトコンテストや、新ロゴマーク・キャッチコピーの募集を行う。 <p>など</p>					